

HIO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

1993. 2. 65号

発行所

講に住職の協力・指導を

神戸で近畿講社幹部研修会

本願寺と全国講社連絡会主催の平成四年近畿プロック講社幹部研修会が去る一月二十六日、二十七日の二日間、神戸タワーサイドホテルを会場に開催され、近畿各地の講社から約四十

人の幹部のかたがたが出席した。本山からは藤実無極参拝部長が出席し講話。全国講社連絡会の登録単位数は五百八であるが減少しつつあること、規約変更や予算を

充実させ、講社社会報や研修会の方法を検討中であることと話をした。続いて本願寺布教使・佐々木大観師(六粟組西願寺)が「地獄があるかないか。何でお寺に参るのか」ということを私の問題として考

えることを通して法話。「お勤めしながらもいろんな事を思うのが私たち。一生懸命になれない私であるから仏様が一生懸命になつてくださった。その仏様の救いに対しては何もするのではないが、救いをいただいた



法話を聴く参加者

者がすることはご恩報謝。ご恩報謝には努力がいる」と話した。

二日目の協議会では各講社の活動や課題が報告された。「住職さん組長さんと連携を保つよう努力している。大阪は教区で連盟を作っているが他教区はどうか(撰津十二日講)。「寺の全門徒の中の十五人ほどで活動している。講の活動も寺の行事に入っていくことが多い」(第一楽信講)。「講は僧俗一体と聞いたが、今はノータッチのような状態なので住職の協力・指導が欲しい」(江州番方講)など寺院との関わり、後継者養成などが話題となった。

全国講社連絡会のパンフレットに「明治以後、講社がなくなっていった役割の大半は他のものにとって代わられましたので、明治以後の講社は、聞法、法味愛染の集りが大半になっております。今日では、講社は本願寺の所属団体となっております」とあるように、教区より本山と関わっている講社であるが、協議会では「住職と門徒の関係というよりも教区との関わりが大切では。教務所と本山が連絡を密にしてほしい」という意見もあった。(2面へ)



通りすがりの老人に「いつまでも生きとらん」と、いい加減にくたばらんかいな」ある女子高生の言葉だと聞きショックだった。どんな子で、どんな家庭だろうなどと詮索する気もなく、そんな言葉や空気が一般化しつつあると聞かされ、末法の時代が過ぎ滅法の時代到来かと寂しい気持ちになる。そんな苦しいことはない、どこかに救われることがあると思っていた矢先、亡くなったおばあさんのひ孫が「おばあちゃん、喜ぶから僕がお経を練習して導師する」と一生懸命テープで練習し、毎晩小学四年生のひ孫の調声で家族全員がお勤めするのに出会い、ほっと救われた気になった。

◆六年間も寝たきりのおばあさんの世話を続けた家族。「おばあちゃん、かわいそうや」と世話を手伝った二人のひ孫たち。誰が偉いのも賢いのもない◆み仏に育てられた優しさが家徳となつてにじみ出たのだからと嬉しく「煩惱障眼雖不見、大悲無倦常照我」の偈文をW家の家族共々喜ばせていただいた。(宇野修己)

教区だより

2・3月

7日(日)	本山 如月忌法要 総永代経開闢法要	大谷本願	25日(木)	建設・推進委員会建築部会	10時半
13日(土)~14日(日)	別院		27日(土)~28日(日)	別院 仏青研修会	
14日(日)~16日(火)	別院常例法座 村井 丹師	1時半	3月2日(火)	連研のための研究会	10時半
17日(水)~18日(木)	総代会一泊研修会	舞子ピラ	4日(木)	都市開教公講講演会 佐々木大観師	江並教堂
21日(日)	門徒推進員研修会	加古川組教照寺	5日(金)	少年連盟役員会	3時
22日(月)	青僧会研修会	4時	6日(土)	第一土曜仏教講座 林 知康師	1時半
23日(火)	近同推常任委員会	京都	7日(日)	別院仏婦定例法座	1時半
24日(水)	同兵宗連、部会合同学習会 八木晃介師	1時半	9日(火)~10日(水)	豊岡教堂永代教法要 藤栄行信師	豊岡教堂

寺院子弟研修会と

スキーツアーに参加を

来る三月二十六日、二十七日の二日間、別院を会場に教区寺院子弟研修会が開催される。

今回のテーマは「浄土真宗のみ教え」。対象は小学五年生、高校三年生の教区内寺院子弟で参加費はひとり三万円となっており、二日目はボーリング大会も予定されている。

お申し込みは三月十八日まで教務所まで。

一方、寺院子弟研修会が終了する三月二十七日の夜から三十日まで、三泊四日(往復車中泊、ホテル一泊)の教区スキーツアーの参加者も募集している。

今年には斑尾高原スキー場で、参加費はひとり三万円。お申し込みは二月末日までに教務所まで。尚、参加者が三十人に満たない場合は中止いたします。

宗教者対象に

学習会

来る二月二十四日、水曜日午後二時より神戸別院において「同和問題」とりくむ兵庫県宗教教団連絡会主催の県内、各宗派の宗教者を対象にした学習会が開催されます。

講師は八木晃介師(花園大学) 講題は宗教と部落差別で参加ご希望の方(僧侶・寺族)は二月十五日まで

に教務所同兵宗連事務局まで電話でお申し込み下さい。尚、会場の都合で定員締切と致します。

仏青が歎異抄に学ぶ

2/27~28に研修会

教区仏青連盟(中原恵子

岳俊子さん(だけ・としこ)神戸東組寶林寺坊守)平成四年十一月七日、九十二才で往生。葬儀は一月三十日、寶林寺で。「寶寿院釋尼芳俊」。

柳川教正師(やながわ・きょうしゅう)北摂組願生寺前住職)一月二日、七十才で往生。葬儀は一月四日、願生寺で。「慶願院釋教正」。昭和十六年から同六十二年まで住職在職四十六年。この間、本願寺布教使、教導師などを務めた。

八田君江師(はった・きみえ)播磨東組晴龍寺前住職)一月六日、六十二才で往生。葬儀は一月九日、晴龍寺で。「寶海院釋泰江」。

昭和三十二年から平成四年まで住職在職十五年。辻野はるゑさん(つじの・はるゑ)淡路組専修寺前坊守)一月十二日、九十一才で往生。葬儀は一月十四日、専修寺で。「専信院釋尼榮貞」。

森本多津さん(もりもと・たつ)城崎組宝宣寺前坊守)一月二十五日、九十才で往生。葬儀は一月二十七日、宝宣寺で。「慈照院釋尼淨慧」。

おことわり
1月号で、佐々木みえさん、高砂組教覚寺前坊守は、揖龍東組教覚寺前坊守の誤りでした。申し訳ありませんでした。

予定している。
お申し込みは参加費(ひとり三万円)を添えて二月十六日までに、教務所(担当岡崎)まで。
尚、青少年国際研修団参加者は特にご参加くださるようお願いいたします。
お詫び
1月号2ページ下段の、浄土宗本願寺派は、浄土真宗本願寺派の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

敬 吊

教区内の講社一覽

平成二年調査による教区内の講社は次の通り。(1)講長(2)設立時期(3)所有する法物(4)年間行事)

吉祥寺門徒講 ①源治男
 ②不明③なし④吉祥寺の行事に参拝

錦城講 ①大岡静子
 ②昭和五年③蓮如上人直筆名号一幅④例会月一回追悼法要

見真講 ①藤本一男
 ②昭和四十九年十二月十五日④例会月一回、報恩講、物故者追悼法要

光明講 ①奥田光太郎
 ②明治初期③明如上人お名号一幅、勝如上人ご消息二通④例会月三回

四恩講 ①源照寺
 樹心講 ①杉田文生
 ②文政三年五月③本如上人ご消息一通、勝如上人ご消息二通④ご消息披露(講員物故者追悼法要、役員総会)

正徳寺お花講①前田つる
 ②昭和四十一年五月一日④例会十六回、報恩講、敬老会、奉仕団

正信会 ①天野國治
 ②昭和二十五年十二月二

十七日③勝如上人ご消息一通④宗教講演会、物故者追悼法要

淳信講 ①猪谷節二
 ②明治二十四年五月十三日③明如上人ご染筆六字尊号④例会月一回、報恩講、念仏奉仕団

親切講 ①田中為治郎
 ②安政二年十月③名号一幅④西福寺と一体の行事進徳十一日講 ①極楽寺崇徳講 ①横山清治
 相統講 ①市川磯松
 ②大正年間③不明④年一回物故者追悼法要

大成講 ①坂本明
 ②昭和四十五年④例会月一回、本山・別院へ参拝

第一樂信講 ①前田静夫
 ②大正十年五月二日④毎月一回法座、年一回本山参拝

丹州十一日講①谷川輝治
 ②文明十年二月③ご消息五通、講旗、法名軸④ご消息披露法座

衣講 ①九折舜壽
 ②昭和三十三年八月十一日③講旗④報恩講、降誕会、物故者追悼法要

明楽寺念仏講①橋元才市
 ②昭和二十七年一月九日③なし④例会月一回、明楽寺清掃、法座参拝

西宮法話講 ①山田茂
 洗心講 ①南中敬治

②明治中頃③勝如上人ご消息一通、④法座四回

命日講 ①関本松雄
 ②昭和二十二年一月一日④例会月一回、正楽寺報恩講、本山ご正忌報恩講に参拝

聞法講 ①豊島嘉一郎
 ②昭和四十年二月二十五日③勝如上人ご消息一通、六字尊号一幅、勝如上人下付御文章④法座六回、全国講社大会に参加

真利講 ①太田唯念
 ②明治二十年四月三十日③名号④物故者追悼法要

大悲五日会 ①赤松文字
 ②昭和二十年頃④法座月一回

丹州十三日講①柴田法雄
 ②天明六年六月③文如上人ご消息三通、広如上人六字名号④例会八回

柔軟講 ①亀田順三郎
 ②明治七年③なし④年一回二日間の法座

同志講 ①津田正太郎
 柳谷東御寄講①下蒲英明
 ②不明③なし④例会数回

柳谷西御寄講①常信泰良
 ②不明③なし④例会数回

吉尾西小寄講①預り美和子
 ②不明③なし④例会数回

上小名田小寄講①前田文郎
 ②不明③なし④例会数回

網干組西念寺住職

青木 敬介さん

されど 住職



播磨灘とともに

「播磨灘を守る会」の十五周年フォーラムをきっかけに検討会を重ね、翌六十二年に「磯浜復元シンポジウム」を開催。それから全国ネットができた。

「衆生病むがゆえにわれまた病むという維摩詰の思いからすると、住民が困っている時に一緒に悩むのが住職の役目。宗祖が人々と一緒に田畑を耕しながら念仏し権力に抵抗した姿を私たちは教えられている」と活動の原点を語る。

公害病で苦しむ弱い人間が切り捨てられ権力に都合よくデータがねじ曲げられる現実や、大気汚染が松を枯らし花粉症の原因に違いないなど、調査や学習の積み重ねから鋭く分析する。

「目先の金儲けのために人命も他の命も殺し傷つけるのは金に支配された餓鬼の感覚。企業という組織体に入ると良心を殺してとんでもないことをしてしまう、まさに無明。そこに必要なのは悟りの智慧。少なくとも念仏者が、それではいかんじやないかというアンチテーゼを出していくかなければ」という活動家であるが、詩集やエッセイ集も出す。 揖保郡御津町岩見 一四三一一 (広報部)

10日誌

◆1月9日 神明組新年懇親会に教務所からも出席◆10日 大谷本廟で永代経開關法要◆12日 広報部会。今後の編集について協議。各寺の寺報なども掲載していきたいと思いますので、教務所宛お送りください◆13日 青僧会三役会◆仏青役員会◆阪神南組住職寺族同朋講座を西要寺で。講師は瑞穂光信師(阪神南組常念寺)◆14日 16日 別院常例法座。講師は本川智暁師(神戸中組西方寺)◆16日 土基輪番の司婚で堀江陽氏と藤岡和歌子さんが仏前結婚式◆ホテルシェレナで行われた部落解放同盟兵庫県連93年新春荆冠旗びらきに同兵庫連事務局長の杉本昭典師(北摂組光澤寺)出席◆18日 教区内の布教使有志で組織する十方会が総会・懇親会。懇親会には教務所長、担当者も出席。十方会では長島愛生園、邑久光明園の常例布教に今年も例年通り会員が交代で出講する◆19日 近畿ブロッ

差別記載乗り越えて

ク保育連絡協議会を津村別院で。教区から保育連盟副理事長の井村智眼師(高砂組真浄寺)と担当者が出席。平成五年度は、新任研修会・補任式が六月十二日に本山で、保育大学講座が十月三十日に津村別院で、と決まりました。また、全国保育大会は七月二十九日、三十日に山口で開催されます◆20日 別院仏婦報恩講。大寒に合わせたような大変寒い日でしたが「ありがたいうおめでとう」という声にうなずく参拝のお同行。土基輪番は法話の中で「正しいおみのり、お念仏を伝えていくという私たちの責任は重い。子や孫が聞法する、そうしたことの拠点づくりである別院改築にご協力ください」と話していた。「今日のお話しに考えさせられた」と姉妹で聴聞した栗山邦子さん。仏婦会長の森和子さんは「とても寒い日でしたが皆さんよくお参りくださいました」。別院に用務員として十五年務め、三年前に退職した松村ミヤ子さんは「私が来たころはいっぱいのお参りでした。か

祖父も一緒に初参式



別院での初参式

報恩講は大勢参って意義があると思うので、もっと大勢が参るように別院さんも力を入れてほしい」と話していた。仏婦会員さんたちが前日から準備した炊き込みご飯も出されました◆21日 連研検討部会。連研のための研究会については三月二日に別院で、久堀弘義師(神戸湊組行願寺)を講師に研修読本第三章を中心に行われることになりました◆同兵庫連部会学習会。講師は基幹運動本部専門委員・小武正教師(備後教区三次組西善寺)。小武師は備後教区の一住職から解放同盟支部への問題提起をきっかけにした糾弾学習会、同朋三者懇話会での学習をまとめた「業を担って」をテキストに、真俗二諦、業・宿業が本年度僧侶研修会の課題となった経過について講演。「免責条項があった調査をどう越えていくか。私の先祖に差別記載があるかもしれないという門徒の

思いに対してどう応え、その事実があったとしても住職と門徒の本来の信頼へ、そこからの出発がなされるか。そのための僧侶研修会であったと思う」と、過去帳差別記載の課題からの僧侶研修の意図についても述べた。また、「世間のごとは世間のこと、ご法義のごとはご法義のごと」と教えを受け取ってきたのではなにかという私の現実から真俗二諦の問題が出てきたこと、明治時代から現在まで業・宿業が自分自身の担う課題になっていかなかったことを述べた。最後にどう課題を明らかにするかについて、具体的な事実から目をそむけない、そういう状況になった歴史を明らかにす